



青き楓

島高だより
令和元年8月号
(通巻第161号)
長崎県立島原高等学校
編集：研修広報部

校長室から

日本一への言葉かけ

校長 渡邊 孝経

猛暑日が続いた今年の夏、全国にまたしても「島高」の名前が轟いた。南九州総体(インターハイ)レスリング競技で吉武まひろさんが女子全国チャンピオンになったのである。また、剣道部女子はベスト8、(玉龍旗では第3位)、男子でも齋藤瑞貴君が第3位入賞、弓道部も県勢8年ぶりのベスト8。日本の西の端の進学校の、普通の高校生が全国の猛者を相手に立派な結果を残してくれた。いつも言っているが「島原高校は進学校である。しかし、ただの進学校ではない」ということを今夏も全国に知らしめてくれた、ありがとう。他にも、男子ソフトテニス部が初戦で惜しくも敗れたが、次につながる粘りを見せてくれた。陸上部は本来の力を出せず残念な結果となった。勝負の世界は紙一重で、わずかな差のために、毎日、無我夢中に練習するのである。国体で是非リベンジを果たして欲しい。

吉武選手の決勝戦は、残り30秒で相手に得点が入り、誰もが「負けた」と思った時、残り2秒で奇跡の逆転タックルが決まった。直後に終了のブザー。「日本一」になった瞬間である。吉武選手が顧問の稲本先生の元へ駆け込んだ時、私も感動で胸が一杯になり、お祝いの言葉も見つからず、握手だけしかできなかった。最後まで勝つことをあきらめなかったひたむきな精神力と集中力に敬意を払いたい。吉武選手はどういう気持ちで試合に臨んだのだろうか、稲本先生はどういう「言葉かけ」をして試合に臨ませたのだろうか、後日聞いてみた。

「1回戦の相手は全国優勝経験者だったが、十分に研究・分析をしていたので、絶対に勝つという強い気持ちで臨みました」「決勝前は不安な気持ちが大きかったが、ポイントを取られてからは攻め続けようと思いました」「たくさんの人に応援してもらい感謝の気持ちでした」と語った吉武選手に対し、稲本先生は「決勝戦の前は『ここまでできたら、何が何でも勝つぞ』」「試合の合間は『いいか、2位は1位の引き立て役にしか過ぎない』『気持ちで負けるな!絶対勝つぞ!』と繰り返し言葉かけをしたそうである。ようするに、技術的指示ではなく、心の持ちようの指示に徹したということだろう。

この「言葉かけ」は答えの出ない宿題みたいなもので、常に勉強しなければならないものである。私自身のことだが、平成21年、インターハイ女子個人決勝戦の試合前に「相手のPL学園は、団体決勝戦でも対戦する。相手の打つタイミングと癖を見極めることも忘れるな」と指示を出した。結果は消極的な試合運びで敗れてしまい、「あんなことを言わなかったら、もっと積極的に攻めたのではないだろうか。もしかしたら、勝てたかも知れない」と今でもすまなく思っている。ただし、本人は団体決勝戦前のミーティングで、自分が感じたことをチームメイトに念入りに教えていた。個人戦で負けて、沈みがちになるところであろうに、と頭が下がる思いがした。そして、本人は個人戦で敗れた相手に勝利し、初めてインターハイ女子の部で団体優勝した。

そもそもミーティングとは、勝つための方策を探るためのものでなければならないのに、指導者はいずれ選手の悪いところの指摘ばかりしてしまい、その悪いところが出て、負けてしまうということがよくある。女子サッカー日本代表の佐々木則夫元監督が「『声かけ』といって、言葉をかけないほうがいい場面もある。」と言われたことがあるが、練習の場でも同じで、とかく指導者は悪いところやクセに目が行く。しかし、それをどのような練習をすれば直すことができるのかを知らない指導者は本当の指導者ではない、と肝に銘じ、指導法を研究し続けた。

選手も指導者もいつも前向きに研究、工夫を続け、良い時も悪い時も、無我夢中に練習に取り組み、「その日は必ず来る」という覚悟で「その日」に向かって、計画的に誰よりも努力することが勝ちにつながるということを、あらためて吉武選手に教えてもらった。

全国大会結果報告

祝 日本一!



■レスリング部

全国高等学校総合体育大会 **女子個人 57kg級 優勝 吉武まひろ**

■剣道部

全国高等学校総合体育大会
男子個人 **第3位** 齋藤 瑞貴
優秀選手 齋藤 瑞貴
女子団体 **ベスト8**
優秀選手 岩本 瑚々
第92回玉龍旗剣道大会
男子団体 **ベスト8**
優秀選手 齋藤 瑞貴
女子団体 **第3位**
優秀選手 峯松 加奈



■弓道部

全国高等学校総合体育大会
男子団体 **ベスト8**

■放送部

第66回NHK杯全国放送コンテスト
創作ラジオドラマ部門
入選(5位相当)「ツボミ」
テレビドキュメント部門
制作奨励賞「木蠟の番人」

主な部活動実績等

■ソフトテニス部男子

令和元年度長崎県高等学校ソフトテニス選手権
島原大会
第3位 田浦・前田ペア

■水泳

令和元年度 長崎県高等学校新人体育大会
第54回水泳競技
女子200mバタフライ 第1位 中川咲希
(九州大会出場)
女子100mバタフライ 第2位 中川咲希

■合唱部

第74回九州合唱コンクール長崎県予選
金賞(九州大会出場)
第57回長崎県高等学校音楽コンクール 声楽部門
金賞 柴田 龍平
銀賞 入江 美夢 前田 梨緒
銅賞 松田 秀麻 松本 一輝
ピアノA部門
金賞 林田 響

■剣道

令和元年度国民体育大会
第39回九州ブロック大会 第1位 少年女子

9月の主な行事予定

- 1日(日) 青楓祭〔体育祭〕
- 2日(月) 週休日振替
- 3日(火) 早朝補習再開
- 5日(木) 週休日振替(9/7分)
- 7日(土) 青楓祭〔文化祭〕1日目
- 8日(日) 青楓祭〔文化祭〕2日目
- 9日(月) 週休日振替(9/8分)
- 12日(木) 地学講座(1年理科)
- 14日(土) 進研マーク模試(3年)
進学ゼミナール(1・2年希望者)
- 18日(水) 読書感想文コンクール
妊婦体験(1年4組、1年5組)
- 19日(木) 定期考査時間割発表(全学年)
部活動休止(~9/30)
妊婦体験(1年2組、1年3組)
- 20日(金) 早朝・放課後補習休止(~10/2)
妊婦体験(1年1組、1年6組)
学級役員任命式・国体壮行会
- 21日(土) 土曜講座(全学年)
- 26日(木) 学年末考査(3年)
中間考査(1・2年)(~10/1)



海外語学研修(オーストラリア)報告

2学年英語科 小森 貴

7月29日から8月6日まで2年生40名はオーストラリアへ海外研修旅行に行ってきました。交流校であるOran Park Anglican Collegeでは、午前中は語学研修、午後は現地生徒と一緒に活動しました。交流の最終日に、島原高校や日本文化紹介のプレゼンテーションを行った後、習字・折り紙・けん玉・将棋を体験してもらい大いに盛り上がりました。日本という国を客観的に見直し、自国の文化に誇りを持つ機会にもなったようです。ホームステイ先では、慣れない食事や生活様式に戸惑いながら1週間お世話になりました。家族の一員として温かく受け入れてもらい、最終日には目に涙を浮かべて別れを惜しむ姿も見られました。

多様な文化や人種的背景を持つ人々が英語を共通語として共生するオーストラリアで、四苦八苦しながら英語だけで生活するという貴重な体験をしました。参加生徒たちが今後の学校生活の中でこの経験を生かして学び続け、国際社会で活躍できる人材に成長することに期待しています。



Sydney Opera House にて



Oran Park Anglican College にて



Oran Park Anglican College にて

理数科 研修

●2年理数科は、以下の研修に参加しました。まず、7月25日の講師3名をお招きしてのミニ講演会、7月27日の佐賀大学において全国総文祭自然科学部門の見学、そして8月7日・8日の崇城大学での工学部・薬学部・生物生命学部の座学・実験でした。また、8月16日には長崎県立大学シーボルト校で高大連携理科実験にも参加しました。以上の研修が、今後の課題研究・進路決定の一助になるものと期待したいです。【2学年担当 田中達也】



●1年理数科は、7月31日に長崎総合科学大学の研修、8月1日に島原市内の企業研修を実施しました。長崎総合科学大学の研修では、音響、ロボコン、船舶海洋、LEDの4つの講義から2つの講義を選択し、LEDや船の模型の作製や、音響実験に生徒たちは目を輝かせながら取り組みました。島原市内の企業研修では、星野建設株式会社、昭和化学工業株式会社、島原ソフトウェア株式会社の3社に分かれて研修を行いました。それぞれの企業の仕事の内容の説明を聞き、実際に体験することで島原市の企業を知ることができました。この貴重な体験を今後の理数科での活動に生かして行ってほしいと思います。【1学年担当 福島華江】



3年生 夏季学習合宿

3学年主任 森崎 悟

今年で39回目となる学習合宿を7月28日～8月3日までの6泊7日で実施しました。3年生209名が参加し、1日11時間という、長時間の学習に取り組みました。最初は長時間の学習に不慣れな様子もうかがえましたが、仲間の姿に刺激を受け、日を追うごとに集中して取り組めるようになりました。問題を解く際に生じた疑問を先生たちに質問することで解消し、「わかる」「できる」を実感し、より深い理解ができたようです。

今回の学習合宿では、長時間の学習への慣れ、質問することによる理解の向上など大きな収穫が得られました。これらを今後のさらなる成長につなげ、72回生全員が第一志望校「合格」を勝ち取るために、一丸となって頑張りましょう。

■生徒の感想より(抜粋)

- 「受験は団体戦」という言葉の意味がやっと分かりました。
- 寝る前に参考書や単語帳を開いて暗記している人がいて、少しの時間も無駄にせず努力している姿に、私もこうなりたいと感じました。
- たくさんの先生方に質問ができました。これからは職員室に質問に行こうと思います。
- 参加させてくれた両親、わからないところを丁寧に教えてくださった先生方、お世話くださったホテルの方々、本当に感謝です。



青楓祭 2019



- ◆**体育祭** … 9月1日(日) 9:00～ 開会(本校グラウンド)
本校グラウンドにて開催(小雨決行、雨天の場合は2日以降に順延)
※自家用車で校内乗り入れはご遠慮ください。駐車場は島原市役所駐車場をご利用ください。(島原文化会館、武家屋敷駐車場はご利用いただけません)
 - ◆**文化祭** … 9月7日(土) 10:00～島原文化会館 12:30～島原高校
9月8日(日) 9:30～島原高校 13:30 島原文化会館
※9月8日 10:00～10:45 中学生および保護者を対象とした学校説明会を実施
※駐車場は島原市役所駐車場をご利用ください。(島原文化会館の駐車場はご利用いただけません)
- みなさんのご来場をお待ちしています。